

2017 旭川デザインウィークを終えて

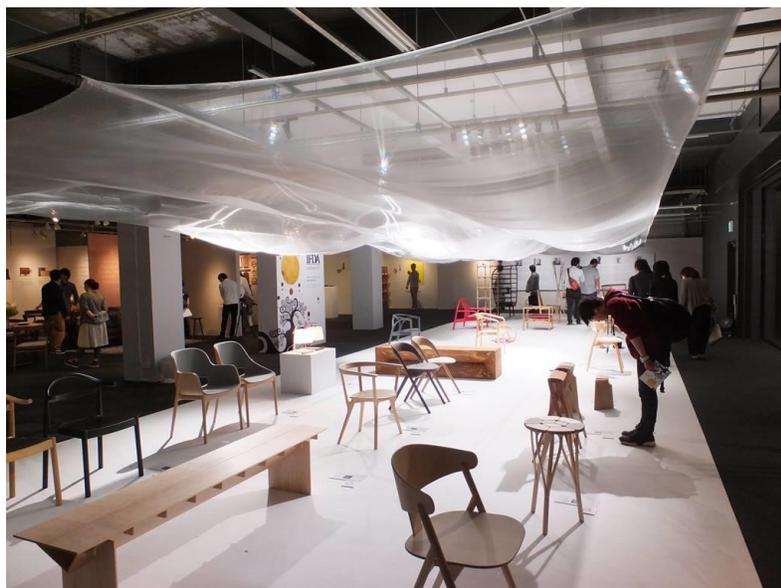
昨年より釧路支部の事業として行なってきたバスツアーですが、今年は昨年の約 2 倍となる 16 名の参加となり、いつにも増して賑やかなバスの旅となりました。

6月21日（1日目）

朝 7 時 30 分に釧路町にある釧路衛星本社を出発したバスは途中タカラスタンダード（株）釧路営業所の駐車場を経由して旭川に向かいました。途中 2 度のトイレ&ソフトクリーム休憩をはさみ、昼食を車中にてとりながら走ったバスは、ほぼ予定通りの時間に旭川に到着しました。



・旭川デザインセンター



今年は 3 年毎に開催される IFDA（国際家具デザインフェア旭川）の年でもあり、コンペ入選作品の展示と表彰が行われました。展示作品もさることながら、建築家 五十嵐淳氏 デザインによる展示ブースも美しく見応えがありました。この他の家具たちもとても素晴らしく、私たちが携わった建築物に置きたい逸品ばかりです。



・デンマーク・デザインの魅力 織田コレクションと旭川



画像は HP より

デザインセンターでの展示を見たのち、道立旭川美術館開館 35 周年記念、IFDA10 回記念としての催し「デンマーク・デザインの魅力 織田コレクションと旭川」を堪能してからホテルへと向かいました。

・IFDA 記念パネルディスカッション&IFDA 記念パーティー



デザインコンペディションの審査委員を務めた方たちのトークイベント。パネルディスカッションでは、全世界から 500 点にもものぼる作品が集まるコンペでの審査の難しさ、そして、どの地域でもありがちではありますが、大きなイベントであるにもかかわらず市民の盛り上がりには欠けるという問題点が語られました。会場となった CoCoDe（旭川市民活動交流センター）は趣のある古い赤レンガ造の建物で、その中庭で催された記念パーティーは、全国から集まった人たちによるデザイン談議で大いに盛り上がる時間となったようです。

・ GARDEN CAFÉ ソライロ (2 次会会場)



賛助会員である（株）カンディハウスさんがセッティングしてくれた素敵なカフェ。美しいカンディハウスの家具と美味しいお料理を堪能しながら親交を深める楽しい時間となりました。



6月22日（2日目）

2日目の午前中は二手に分かれた行動となりました。

Aコースはカンディハウスのファクトリーツアー（工場見学）です。工場内は撮影NGのため写真は有りませんが今年木製のCuttingボードの仕上げ工程が体験できました。優れたデザインの家具を世に送り出すための原材料の選定やコスト管理にもつながる製作工程には建築としても学ぶところが多いと思います。

Bコースは高砂酒造の工場見学です。あいにく、酒造りの季節ではないので機械などは動いていませんでしたが、パネルなどを使っての山崎さんの丁寧な説明に皆、ほお〜！と深く頷いていました。



見学のあとはお楽しみの試飲とお土産の調達です。同じお米を使っても醸造の仕方が違った場合、同じ醸造の仕方でも違うお米を使った場合、それぞれの味の違いにも、へえ〜！ほお〜！と驚き、米麴から作る甘酒の優しい甘さに感動し、それぞれお買い物を楽しんだひと時でした。



この後、カンディハウスに向かうためのシャトルタクシーに乗るために、赤レンガギャラリー蔵囲夢に向かいます。こちらは歴史ある赤レンガ倉庫群をチェアーズギャラリーやデザインギャラリー、大雪地ビール館、多目的ホールとして利用した素敵な場所です。

・カンディハウス

昨年に引き続き訪れたショールームですが、今年は少し落ち着いた感じの展示のようでした。



来年は 50 周年を迎えるとのこと、その軌跡が感じられるパネル展示もあり、とても素敵なインテリアとそのコーディネートに魅せられた時間でした。釧路では大規模での家具展示が少ないため、こういう勉強できる機会は貴重だと、つくづく感じていました。

昼食には用意して下さった幕の内弁当をいただき、慌ただしく次の見学先へと移動します。



・上野ファーム

釧路ではあまり見ることができない「見せる庭」。家づくりをする中で、相談が多くあるけれど、なかなか手が出せない分野なのではないか。ということで企画した見学コースです。

上野ファームの庭は、英国の庭づくりを参考にしながら、北国の気候・風土だからこそ表現できる植栽デザインを考え、この土地でしかできない庭づくりに挑戦している「北海道ガーデン」です。（HP から引用）

というだけあって、壮大な庭に季節ごとに咲く美しい花が咲いていました。このまま釧路で作れるかどうか分かりませんが、日頃の仕事にも役立つであろう大変参考なるガーデンでした。



旭川を 14 時 30 分に出発、釧路に向かいます。さすがに、帰りのバスの中は静かで、2 度の休憩をはさみ 19 時 30 分頃に無事に到着、解散となりました。また、このような学びの機会を作って頂ければと思います。